

谷千城 （たに せんき） 陸軍軍人。天保八年（一月十一日）土佐國高岡郡窪川生乳、  
明治四十四年五月十二日没（六三七一—九二）。幼名申太郎、通稱守部。  
號海南士狂、隈山。家祖は谷泰山、父谷景井から文武を學び、うち安  
井息軒の入門。幕末國事の奔走、戊辰戰の少監察として従軍。明治四  
年兵部權大丞陸軍大佐、うち少將、熊本鎮臺司令長官となる。七年征  
臺の役に従軍、西南役では熊本籠城に成功、中將。爾後陸軍士官學校  
校長、學務院院長、貴族院議員、農商務相等歴任。子爵。また西村茂  
樹の後を承けて日本弘道會二代自會長を務めた。

著書『（現今）演説論集』（合著・柳原政登編、明治二十年八月薰志堂

『講談演説集』（、『（雄辯）實地演説筆記』（合著・内山龜太郎編、明

治二十一年一月京都・改進堂書店）、『（雄辯）實地演説集』（合著・櫻

井鎌浩編、明治二十一年二月、二百石川傳吉刊、（正文堂發賣）、四百五十

名家語録』（合著・平田骨仙撰、明治二十一年十月十二日平田勝馬刊、

鐵華書院）等。

